

食中毒発生一覧（平成27年）

H27.12.24現在

NO	発生年月日	健康福祉センター	主な発生場所	喫食者数	患者数	原因食品	病因物質	原因施設の営業許可種別	事件の概要	行政処分	備考
1	H27. 2. 13	二州	敦賀市	21	3	2/12提供のヒラメの刺身	クドア・セブテンプクタータ	飲食店（仕出し弁当）	平成27年2月13日（金）午後2時頃、二州健康福祉センター管内の医療機関から「下痢、嘔吐の食中毒様症状を呈した患者3名が受診した。患者らは10名で2月12日（木）の夜に、敦賀市内のN飲食店を利用していた。」との連絡が二州健康福祉センターにあり、調査を開始した。 二州健康福祉センターは、有症者の共通食が当該飲食店で提供されたこと、症状等に類似性が認められること、当該飲食店で提供したヒラメの刺身の残品からクドア・セブテンプクタータを確認したこと、医師からの届出があったことから、本件を同施設で提供されたヒラメの刺身を原因とする食中毒と断定した。 なお、入院した者はなく、いずれの有症者も症状はほぼ回復している。	-	探知 2/13 指導文書交付
2	H27. 3. 16	若狭	高浜町	22	4	3/14および3/15に提供した食事	ノロウイルス	飲食店（社交飲食）	平成27年3月17日（火）午前10時30分頃、高浜町内の住民から、「3月14日（土）に小浜市内の飲食店Gを6名で利用した。自分は3月16日（月）早朝から嘔吐・下痢をしており、親戚も同様の症状を呈しているようだ。」という旨の通報が若狭健康福祉センターにあった。 若狭健康福祉センターが調査した結果、3月14日（土）および3月15日（日）に当該施設を利用した当該グループ6名を含む2グループ22名のうち8名が下痢・嘔吐等の症状を呈していた。 若狭健康福祉センターは、有症者の共通食が当該施設の提供した食事以外にないこと、有症者の症状や潜伏時間が類似していること、有症者と調理従事者からノロウイルスが検出されたこと、医師からの届出があったことから、本件を同施設が3月14日および15日に提供した食事を原因とする食中毒と断定した。なお、入院した者はなく、有症者はいずれも回復している。	3/19～21 営業停止処分	探知 3/17
3	H27. 4. 4	若狭	小浜市	3	1	4/3に調理喫食したサバずし	アニサキス	家庭	平成27年4月5日（日）午前0時15分頃、若狭健康福祉センター管内の医療機関から、「腹痛、吐気、嘔吐の食中毒症状を訴える患者が受診し、胃からアニサキスを摘出した。患者は4月3日（金）の昼食と夕食にサバずしを食べている。」旨の通報が若狭健康福祉センターにあった。 若狭健康福祉センターが調査した結果、4月3日（金）に家族3名で当該サバずしを喫食しているが、患者以外の2名は発症していなかった。サバずしは4月2日（木）に釣ってきたサバを自宅で調理したものであり、発症前に当該サバずし以外の魚介類の喫食はなかった。 若狭健康福祉センターは、患者の症状や潜伏時間がアニサキス症と類似していること、患者の胃からアニサキス虫体が検出されたこと、医師からの届出があったことから、本件を家庭で調理したサバずしを原因とする食中毒と断定した。なお、患者はすでに回復している。	-	探知 4/5
4	H27. 6. 7	福井	福井市	186	11	6/7に提供された弁当	ウエルシュ菌	飲食店（食堂）	平成27年6月8日（月）午前9時頃、福井市内の事業所から「6月7日（日）に福井市内で会合を行い、昼食に弁当を食べたところ、その日の夕方から多数の者が下痢等の症状を呈している。」という旨の通報が福井健康福祉センターにあった。 福井健康福祉センターが調査した結果、福井市内の飲食店Aが調理し、当該会合に提供した弁当を食べた186名のうち116名が腹痛、下痢等の症状を呈していた。 福井健康福祉センターは、有症者の共通食が当該会合で提供された弁当以外にないこと、有症者の症状や潜伏時間が類似していること、有症者の便からウエルシュ菌が検出されたこと、医師からの届出があったことから、本件を当該施設が調理した弁当を原因とする食中毒と断定した。なお、入院した者はなく、有症者はいずれも回復してきている。	6/10～12 営業停止処分	探知 6/8
5	H27. 6. 27	丹南	越前市	20	3	6/27に提供したヒラメの刺身	クドア・セブテンプクタータ	飲食店（食堂）	平成27年6月28日（日）午前1時45分頃、丹南健康福祉センター管内の医療機関から「下痢、嘔吐の食中毒様症状を呈した患者3名が受診した。この3名は6月27日（土）の夜に、越前市内の飲食店Iで会食している。」との連絡が丹南健康福祉センターにあり、調査を開始した。 調査の結果、当該グループ4名のうち3名に同様の症状があった。丹南健康福祉センターは、症状等に類似性が認められること、当該飲食店で提供したヒラメの刺身の残品からクドア・セブテンプクタータを確認したこと、医師からの届出があったことから、本件を同施設で提供されたヒラメの刺身を原因とする食中毒と断定した。なお、入院した者はなく、いずれの有症者も症状は既に回復している。	-	探知 6/28
6	H. 27. 7. 19	二州	敦賀市	41	6	7/18に提供した食事	ノロウイルス	飲食店（食堂）	平成27年7月22日（水）午前8時35分頃、敦賀市内の事業所から「7月18日（土）に敦賀市内でイベントに参加し、昼に「飲食店E」で食事をしたが、翌日から複数の者が下痢等の症状を呈している。」という旨の通報が二州健康福祉センターにあった。 二州健康福祉センターが調査した結果、当該施設を利用した当該グループ32名の他、当該施設の調理した弁当を喫食した9名、計41名のうち18名が下痢、発熱、嘔吐等の症状を呈していた。 二州健康福祉センターは、有症者の共通食が当該施設で提供された食事以外にないこと、有症者の症状や潜伏時間が類似していること、医師からの届出があったことから、本件を当該施設が調理した食事を原因とする食中毒と断定した。 なお、有症者はいずれも回復してきている。	7/23～25 営業停止処分	探知 7/22
7	H. 27. 11. 9	福井	福井市	18	3	11/7、8に提供した食事	ノロウイルス	飲食店（旅館）	平成27年11月12日（木）15時頃、県外の医療機関から、「本日、下痢・嘔吐等の食中毒様症状を呈する患者1名が受診した。患者は、11月7日（土）に福井市内の宿泊施設を利用しており、一緒に宿泊した複数名も同様の症状を呈している。」旨の通報が福井健康福祉センターにあった。 福井健康福祉センターが有症者居住先自治体を通じて調査した結果、11月7日（土）～11月8日（日）にかけて「飲食店A」に宿泊し、同施設が調理提供した食事を食べた1グループ18名中10名が下痢・嘔吐等の症状を呈していた。 福井健康福祉センターは、有症者の共通食が当該施設の調理提供した食事以外にないこと、有症者の症状や潜伏時間が類似していること、調理従事者の同居家族が先行発症しており、当該同居家族および有症者便からノロウイルスが検出されたこと、医師からの届出があったことから、本件を同施設で調理提供した食事を原因とする食中毒と断定した。 なお、入院した者はなく、有症者はいずれも回復している。	11/17～18 営業停止処分	探知 11/12
8	H. 27. 12. 15	丹南	鯖江市	17	6	12/12に提供した食事	カンピロバクター	飲食店（食堂）	平成27年12月18日（金）午後2時頃、鯖江市内の医療機関から、「食中毒の疑いのある小児患者3名が受診している。3名は同じスポーツ少年団に所属し、12日夜に鯖江市内の飲食店で会食後、発熱下痢などの食中毒症状を呈している。当該団体では他にも有症者がいるらしい。」旨の通報が丹南健康福祉センターにあった。 丹南健康福祉センターが調査した結果、12月12日（土）に「飲食店T」を利用した当該団体30名のうち5名が発熱下痢の症状を呈していた。 丹南健康福祉センターは、有症者の共通食が当該施設で調理提供した食事以外にないこと、有症者の症状類似潜伏時間がほぼ一致していること、有症者便からカンピロバクター菌が検出されたこと、医師からの届出があったことから、本件を同施設が調理提供した食事を原因とする食中毒と断定した。 なお、入院した者はなく、有症者はいずれも回復している。	12/23～25 営業停止処分	探知 12/18
9	H. 27. 12. 19	若狭	小浜市	40	2	12/18に提供した食事	ノロウイルス	飲食店（社交飲食）	平成27年12月21日（月）午後5時頃、若狭町内の事業所から、「会社の忘年会の参加者22名中12名が体調不良を訴えている。」旨の通報が若狭健康福祉センターにあった。 若狭健康福祉センターが調査した結果、12月18日（金）に「飲食店O」を利用した当該グループ22名を含む、2グループ40名のうち21名が下痢等の症状を呈していた。 若狭健康福祉センターは、有症者の共通食が当該施設で調理提供した食事以外にないこと、有症者の症状や潜伏時間が類似していること、医師からの届出があったことから、本件を同施設で調理提供した食事を原因とする食中毒と断定した。なお、届出患者2名の内、1名は入院しているが、症状は回復してきている。	12/23～25 営業停止処分	探知 12/21
	合計			368	39						